

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成 18 年 3 月 9 日 (2006.3.9)

【公開番号】特開 2005-236867 (P2005-236867A)

【公開日】平成 17 年 9 月 2 日 (2005.9.2)

【年通号数】公開・登録公報 2005-034

【出願番号】特願 2004-46288 (P2004-46288)

【国際特許分類】

H 0 4 L 27/38 (2006.01)

H 0 3 M 1/12 (2006.01)

H 0 4 B 1/26 (2006.01)

H 0 4 L 27/22 (2006.01)

【F I】

H 0 4 L 27/00 G

H 0 3 M 1/12 C

H 0 4 B 1/26 H

H 0 4 L 27/22 Z

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 1 月 24 日 (2006.1.24)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 4】

前記有効ビット選択手段は、

前記 A / D 変換手段から出力される符号ビットと前記 A / D 変換手段から出力される数値ビットの中で最上位ビットを含んだ M (M は任意の自然数) 個の連続した数値ビットとを有効ビットとして選択し、前記数値ビットの数 M の変更で有効ビットの数を変更することを特徴とする請求項 1 乃至 3 のいずれか一項に記載の受信装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 5】

さらに、受信信号の電力レベルを検出する受信電力レベル検出手段を備え、

検出した前記受信電力レベルが大きくなるに従って、前記数値ビットの数 M を小さくすることを特徴とする請求項 4 に記載の受信装置。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 6】

さらに、受信信号の搬送波対雑音電力比 (C / N) を取得する C / N 取得手段を備え、

前記 C / N が大きくなるに従って、前記数値ビットの数 M を小さくすることを特徴とする請求項 4 に記載の受信装置。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 7】

前記受信信号は、初期同期用のプリアンブル部と、データを伝送用のペイロード部と、前記ペイロード部の復調に係わるペイロード部復調用情報を含むヘッダ部と、を含むパケット信号であり、

さらに、前記ペイロード部復調用情報を解析するためのヘッダ部分解析手段を備え、

前記有効ビット選択手段は、前記ペイロード部復調用情報を基に、前記数値ビットの数 M を選択することを特徴とする請求項 4 に記載の受信装置。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 10

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 10】

前記プリアンブル部の復調に用いる数値ビットの数 M が、同一のパケット内において、任意の値で固定されていることを特徴とする請求項 7 に記載の受信装置。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 16

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 16】

さらに、受信信号の搬送波対雑音電力比 (C/N) を 取得 する C/N 取得 ステップを有し、

前記 C/N が大きくなるに従って、前記数値ビットの数 M を小さくすることを特徴とする請求項 14 に記載の受信方法。

【手続補正 7】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 17

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 17】

受信信号が、初期同期用のプリアンブル部と、データを伝送用のペイロード部と、前記ペイロード部の復調に係わるペイロード部復調用情報を含むヘッダ部と、を含むパケット信号である場合、

さらに、前記ペイロード部復調用情報を解析するためのヘッダ部分解析ステップを有し、

前記有効ビット選択ステップでは、前記ペイロード部復調用情報を基に、前記数値ビットの数 M を選択することを特徴とする請求項 14 に記載の受信方法。

【手続補正 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0018

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0018】

さらに、受信信号の搬送波対雑音電力比 (C/N) を 取得 する C/N 取得 手段を備え、

前記 C/N が大きくなるに従って、前記数値ビットの数 M を小さくすることがより好ましい。

【手続補正 9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0028

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0028】

さらに、受信信号の搬送波対雑音電力比 (C/N) を取得する C/N 取得ステップを有し、前記 C/N が大きくなるに従って、前記数値ビットの数 M を小さくすることがより好ましい。